

長岡崇徳大学図書館

英語多読チャレンジ@Library

概要

英語多読用読本を読み、読了語数を記録・申告していただき、読語数に応じて、表彰させていただくチャレンジプログラムです。一部英語科目と連動します。

目的

本学の学生並びに教職員の学修・研究・娯楽としての読書習慣とスキルを楽しみながら向上させることを目的とし、英語多読活動を応援します。多読チャレンジはこの動機付けとなることを願い、これを開始します。今後、公共性の高い大学図書館の使命である社会貢献として、地域の児童、生徒、一般市民も参加できる仕組みを目指します。

背景

私たちの周囲にあふれる情報は、現在でも8割程度が英語で発信されています。英語は英語を母語とする人たちだけの言語ではなく、非母語話者間のコミュニケーションツール 国際言語となっていることを疑う余地はありません。自動翻訳などの技術は積極的に活用すべきですが、自ら読めることにも大きな意義があります。楽しみでもあります。しかし、普段の生活では、英語の文字に触れる機会は極めて少なく、本を丸ごと一冊読んだ経験のないまま、大学に進学される方がほとんどでしょう。

英語の本を表表紙から裏表紙まで(from cover to cover)読む！その達成感！
多読を楽しんでみませんか。

多読の効果は、数冊を読むだけでも、英語の本を自ら読破する達成感を味わうことができ、その後数万語から数十万語、数百万語と読破するにつれて、なぜかわからないけれど、読む速度が向上し、読解力が上がった気がしてきます。このしくみは、科学的に実証されています。速度が上がる理由は、日本語を介さずに意味を理解できるようになるからです。そして読解力と聴解力には関係があり、多読により、リスニング力も向上すること明らかになっています。

多読の効果を上げるには、こつ(守るべき原則)があります。**多読3原則**と呼んでいます。

- ☆英語は英語のまま理解する(調べない)
- ☆7～9割の理解度(だいたいわかった)で読む
- ☆つまらなければあとまわし

主なシリーズ例 読みやすさレベル0.1～0.5の本をたくさん読むことが効果的です。

シリーズ名	シリーズ記号	YL(読みやすさレベル)	
Oxford Reading Tree	ORT	0.1～0.8	Fiction
Collins Peapod Readers	CPR	0.2～0.8	Fiction
I Can Read!	ICR	0.7～1.4	Fiction
Mog's series	MGTCT	0.1～1.5	Fiction
Mr. Putter and Tabby series	MPT	0.8～1.5	Fiction
Ready to Read (Peanuts)	RR-P	0.7～1.4	Fiction
Oxford Read and Discover	ORD	1.0～2.0	Nonfictions
Oxford Explore with Biff...	OEB	0.2～1.0	Mix

エントリー受付中

エントリークラス

1. チャレンジ 2026

初年度のチャレンジです。毎年度4月以降のエントリーから12月第3週頃まで、次の語数に達した時点で表彰します。(最終日は後日お知らせします)

表彰対象語数: 10万語(1000円)、20万語(2000円)、
30万語以上(5000円)

毎年エントリーするしくみです。毎年度繰り返しエントリーできます。

30万語以降は、2. “4年間”チャレンジ(仮称)に自動エントリーとなります。

100万語以上を目指してください。エントリー管理方法は利便性向上のために変更することがあります。

2. “4年間”チャレンジ(仮称)

在学4年間を通じてのチャレンジです。次の語数に達した時点で表彰します。

表彰対象語数: 100万語(1万円)、以降X万語ごとにX万円

3. Xmas Challenge2026 12月(予定)

詳細は後日お知らせします

多読方法

多読の効果と効果が出る読み方など、理解したうえで、簡単な本を楽しく、日常的に継続して読んでください。詳しくは、図書館備え付けのリーフレットや、'英語多読'などのキーワードで調べてください。

記録方法

図書館備え付けの、多読チャレンジ図書館記録用紙を使い、チャレンジャーフォルダに保管してください。詳細はエントリー時にお知らせします。

英語多読Challenge 2026エントリー方法

二次元コードを読み込み、Google Formに、必要情報を入力して送信してください。大学のm.sutoku.ac.jpのアドレスでお申し込みください。

チャレンジャーは、表彰時はチャレンジャーハンドルネームを掲示します。ご本名を希望の場合は、ハンドルネームの項に本名を入力してください。

Challenge 2026

<https://forms.gle/qjBHGngmzrzB9ZYf8>



現在チャレンジ参加中の方もエントリーしてください。

記録用紙には、2026チャレンジ参加と欄外に記入してください。

問い合わせ: 川崎真理子 研究室606 kawasaki-m@m.sutoku-u.ac.jp